

鹽石と白

漢人と回

三人種と
教育

輸出入品
と價格

共に、美味を以て其の名高し。顆々紫色濃に、果粉銀の如く、大粒のもの少きも水分
充ち満ちて、津々たる甘味言ふべからず。土人は之を乾して四方に輸出す。年額
七八十萬斤あり。其他鹽の産出あり。之には二種類ありて、一は赤鹽と稱し結晶
中赤土を混し、水に溶解して用ゆ。西方二里餘の山中に出づ。一は白鹽にして結
晶甚だ美に、些の土を含まず。南方、十餘里の處より産せり。又麥、麻、石炭等にて、石
炭は有煙質に屬し、北方十三里餘の山麓に出で、一日採掘約一千五百斤と云ふ。

人家は約五千戸を有し、内漢人百二十餘戸、漢回千三百餘、他は總て纏頭とす。外
に露商四十餘戸あり。漢人は湖南、湖北の人多く、直隸、甘肅人之に亞ぐ。文武官は
湖南人の占むる所にして、他は擧げて商業に従ひ、農民は纏頭八分、漢回二分の比な
り。

教育としては觀るべきもの無く、唯漢字を教授する公立の五學堂(城内に三個、城
外に二個)ありて、教師は漢人之を擔當し、生徒は漢人及漢回の子弟とす。其他回經
を專授する三巒ありて、教師生徒竝に漢回とす、纏頭は學校の設なし。

商業は沈靜にして、一般に振はず。貿易上の權力は、纏頭の占む所と爲りて、現に